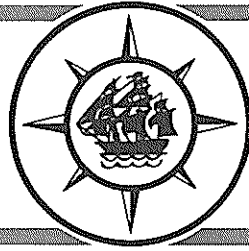


Operation Raleigh News

Operation
Raleigh

DENSO

No. 19

昭和61年(1985)5月5日(月)
毎月1回発行●発行所 オペレーション・ローリー日本委員会
〒104 東京都中央区築地1-7-10 築地オーミビル502号
電話 東京(03)544-7413

●このオペレーション・ローリーニュースは日本電装㈱のご協力で作られたものです。

1986年次
参加青年募集

要項請求数は1,600突破

3月20日から5月31日までの日程で1986年次OR参加青年募集活動が展開されていますが、4月30日までの集計によると募集要項請求者数は1,680に達しています。その内訳は男性901人、女性779人。やはり新聞広告、雑誌広告が掲載された直後の問い合わせが多いようです。募集要項の広告が掲載されている新聞、雑誌はつぎの各紙誌です。

- 新聞：日本経済・読売・朝日・毎日・中日
- 雑誌：ポパイ・ナンバー・ホットドッグプレス



新聞広告、雑誌広告、ポスターなど

ソロモン諸島フェイズ
4月中旬から本格始動

OR英国本部発行のウィークリーブリテンNo.32(4月9日号)によるとソロモン諸島フェイズは4月中旬から本格的プロジェクトに取り組むということです。その内容はつぎの4つです。

1. 国際赤十字と協力してギゾ島に医療センターをつくる。
2. シンボ島のセント・ピーター教会を修復し、学校を増築する。
3. ニュージーランド島のマセ山で考古学研究を行ない、コンラッド・ゴリンスキー博士の指導でランの収集、生態学調査を実施する。
4. 島々の外でシュノーケル、探検トレーニングを実施する。

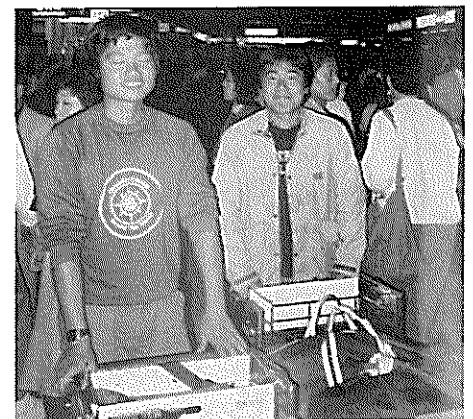
ソロモン・フェイズの渡辺、来住南、上居の三君から4月12日現地発のはがきが送られてきました。概要はつぎのとおり。

シドニーからブリスベンまでの乗り継ぎに失敗したものの、ロンドンからの本隊もたまたま遅れたため合流することができました。ブリスベンからソロモン諸島の首都ホニアラまでは4日に1便しかないのですが、本隊が飛行機の出発を1時間遅らせてくれました。オーストラリア英語は難しく、しかもホニアラは暑いところです。ムンムンしていて蚊も多いようです。人種はまちまちで、ここにも華僑がいます。リーダーや他のベンチャーたちは親切でわからないところはゆっくり説明してくれます。

チリ組3人帰国

チリ・フェイズに参加していた高柳俊成君、鈴木昭君、吉田靖君はロンドン発の日航機で4月6日(日)午後4時45分、成田空港に無事帰還しま

した。出発前にくらべて、3人とも顔つきに精悍さがあふれ、3ヵ月間のさまざまな体験が彼らをひとまわり大きくしたように感じられました。



▲元気に帰国した鈴木君と高柳君

加藤麻岐さんも

また、チリ・フェイズに参加していた加藤麻岐さんも4月24日(日)ロンドンから元気いっぱい成田空港に帰国しました。

熱帯雨林・洞窟・フィヨルド・ダイビング・カヌー旅行など

オーストラリア

ニュージーランド

ヨーク岬とサウスアイランド 冒険的プロジェクトわんさ

7月から10月の予定で展開されるオーストラリア・ヨーク岬フェイズ(7A)および9月から12月の予定で展開されるニュージーランド・テアナウフェイズ(8A)のジョイニング・インストラクション(OR参加青年への指示書)がOR英国本部から送られてきました。その一部をご紹介します。

豪州・ヨーク岬フェイズ

●概略日程●

- 7月25日 主隊ケアーンスに到着
- 7月30日 最初のプロジェクト地へ
- 8月13日 第2のプロジェクト地へ
- 9月3日 第3のプロジェクト地へ
- 9月24日 ケアーンスへ再集合
- 10月3日 主隊母国への帰途につく

●奉仕活動●

■マルグレーブ川

16人のベンチャラーがケアーンス南部のマルグレーブ川の生態調査に参加。カヌーを使用。

■ベレンデン・カー歩道

32人のベンチャラーがクイーンズランド国立公園と動物保護協会の手伝いとしてベレンデン・カーにある金山歩道の改修作業に参加。金山跡の発掘調査も実施。

■ジョンソン・ゴーク歩道

クイーンズランド政府の提案でジョンソン・ゴークまでの歩道づくり。

■ホイットフィールド山の歩道

ケアーンス市議会の提案でケアーンス都会地域内でホイットフィールド山に歩道を建設。地元団体との交流も予定。

■オールド・ローラ農場の修復

レクフィールド国立公園オールド・ローラ農場の修復作業。古い農場、居住者の歴史資料収集も。

●科学活動●

■クインカンのロック・アート

デイトン川流域で古代岩石芸術の調査と記録。16人のベンチャラーが参加して実施。

■レクフィールド国立公園

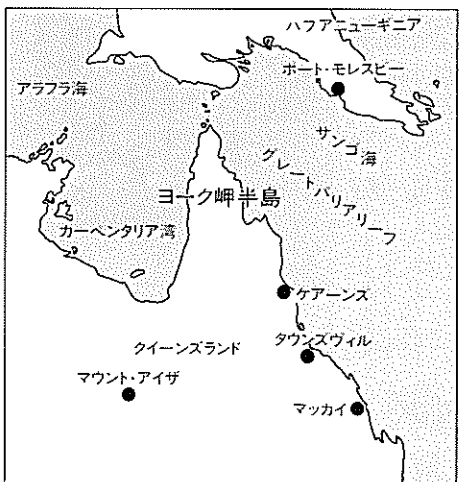
24人のベンチャラー参加での動植物生態学研究。とくに金色のオオムヤククタウンのランの花の分布状況調査、原住民埋葬地調査なども。

■リザード島での海洋調査

グレート・バリア・リーフのリザード島近辺でさまざまな海洋学調査および研究・観察施設の改良作業。

■ロカビー&

アーチャーベンド国立公園
ロカビー&アーチャーベンド国立公園での生態学調査。またロカビー農場の歴史資料収集なども。



■マッキルレース地域

コーエンの北のマッキルレース山岳地帯で植物調査。また熱帯雨林地域の横断や砂金採集、シルバー草原での牧場手伝いなども実施。

■熱帯雨林の生物資源調査

熱帯雨林地域の保存のための世界的な研究プログラムの一環としてさまざまな生物資源の調査。

●冒険活動●

■チラゴ洞窟調査

チラゴ洞窟クラブとともに、チラゴ洞窟を探検。洞窟内でのレクリエーションも計画。

■ダイビング

グレート・バリア・リーフでのダイビング。

■ジャングル・パトロール

熱帯雨林での作業と並行し、さまざまなジャングル・パトロールを計画。山越えなども予定。

ニュージーランドフェイズ

●概略日程●

- 9月20日 クライストチャーチ(サウスアイランド)到着
- 9月20日 テ・アナウへ移動。
- 9月27日 での順応期間として1週間。
- 9月28日 現地本部から指示さ
- 9月28日 仕事に従事。
- 12月10日
- 12月11日 ベースキャンプに戻
- 12月11日 それぞれの母国へ帰
- 12月14日

●奉仕活動●

■自然教育センターの手伝い
サウス・アイランドの子供たちへのためのフィヨルド地帯にある自然センターで子供たちと一緒に鉱探検に参加。

■気象学プログラム

ニュージーランド気象サービス気予報のためのデータを無線で送る作業。

■クルーサ川上流の歩道建設
ニュージーランドでも大きな川とつクルーサ川の上流に歩道を作り、国立歩道の全体を完成させる作業に参加。

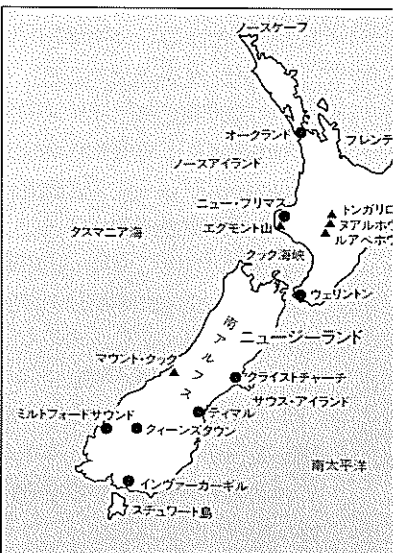
■歩道の維持修復とフェンスの
アスプリング国立公園内の歩道草除去や動物保護のためのフェづくり。

■ワナカ湖の雑草調査

湖を守るために雑草をコントロールする調査活動に参加。

■古い鉱山の跡修復

タラウエラ鉄鉱会社(19世紀末鉱山、製錬所跡)の修復作業。



●科学活動●

■南極に近い島々での動物調査
 ニュージーランド政府とともに、海鳥の数・分布調査（ペンギン、アホウドリ、カルガモなど）。また野生ブタ、ネコ、ヤギ、アシカなどの分布調査。

■カンタベリー大学の調査
 フィヨルドにいる無脊椎動物の標本を集め、抗ビールス性を調査。

■黒サンゴ調査・川の土質調査
 ニュージーランド海洋研究所の提案で黒サンゴ分布地の潜水による調査データ収集活動。また200ヵ所の河口や入江での土質調査。



▲写真はチリ・フェイズのものです。

■フィヨルド地帯での
 川と海の相互作用調査

川の上流からフィヨルドに流れてきた沈殿物や水を収集したり、地層や湖の測定調査などを実施。

■フィヨルド地帯の動物調査
 未踏の地域へ入り、つぎのような調査研究活動を実施。

- 夜行性オウムの探査
- 鳥の分布調査
- トカゲ、ヘビの分布調査
- ニュージーランド特産のオウムやミンサザイなどの分布調査
- トランジット川流域で野生動物の調査・記録

●冒険活動●

■フィヨルド公園内の徒歩旅行
 山、谷、川など困難な道での徒歩旅行に参加。またクック山(3,764m)などへの登山も予定。

■ダイビング
 ワナカ湖などでダイビングによる調査のほか、遊びでのダイビングも楽しめる予定。

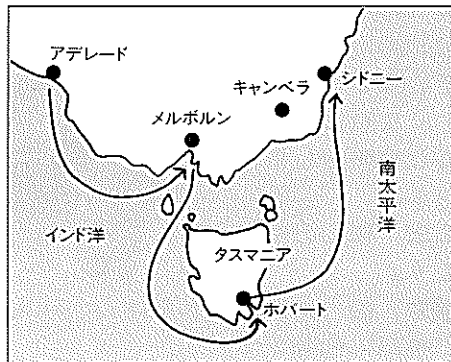
■カヌーなど
 カヌー、イカダ、ジェットボードなどによる冒険的な活動。



ゼブ号豪州を航海中

ゼブ号は、ザノニでの潜水プロジェクトを終了し、3月末にはオーストラリア南部の港、アデレードにもどり、その後メルボルン、タスマニア島のホバート、シドニーというコースで航海中です。シドニーには4月28日到着予定で5月10日まで、ゼブ号の点検整備、ベンチャラーの交代を行ないます。

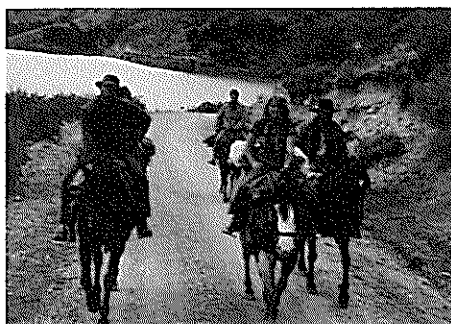
(3月26日付ORウィークリーブリテンNo.31より)

チリフェイズ
パート2本格化

日本から5人が参加したチリ・フェイズのパート1は大成功でしたがパート2の活動が本格化し、コヤイケ地区を中心に5つのパトロールが実施されています。

●パトロール1

ベンチャラー12人を含む総勢18人のチームで、馬または徒歩によってシェラ・カスティロ地区南部の谷に道をつけることができるかどうかの調査をします。カナダの映画カメラマンも参加します。



●パトロール2

総勢15人のプロジェクトで、チリチコから30頭の馬に荷を載せて、ジェネメニまで往復します。その後パトロール3と交代します。

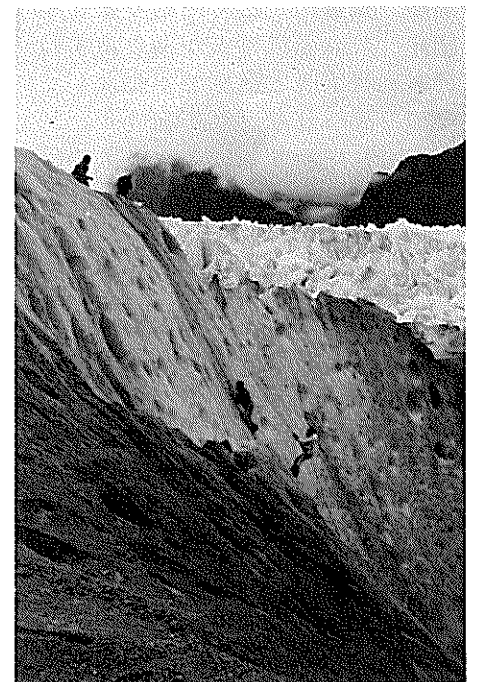
●パトロール3

総勢16人のプロジェクト。チリチコでサンチャゴ博物館に展示する草のひげ根の採集作業に参加します。



●パトロール4

19人の参加するプロジェクト。トラック、ボート、馬、徒歩、フェリーなどを使って、トータルで約250kmの旅をします。カナダから映画製作者も参加します。



●パトロール5

イギリスの映画製作者を含む総勢18人の氷河探検プロジェクトで、氷河登はん、海岸でのサバイバルトレーニングなどを実施します。

(3月26日付ORウィークリーブリテンNo.31より)

★写真はいずれもチリ・フェイズのパート1のものです。

日本代表派遣青年のページ

1985年次の第2陣として5月2日からのパプアニューギニア・フェイズに参加する山田穂積君、長谷川秀司君および第3陣として5月9日からのオーストラリア北部フェイズに参加する福井健君、安田清和君、鈴木治弘君が出発前のインタビューに答えてくれましたのでご紹介しましょう。

「何でも見てやろう」

— ORに応募した動機は何ですか
山田 とにかく外国へ行きたかったからです。

福井 「何でも見てやろう」という精神が直接の動機です。

鈴木 海外で自分の力を試してみたかったからです。

安田 20代のうちに納得できる大仕事をやってみたかったことです。

長谷川 未知の世界で新しい自分を発見したかったからです。

— 出発にあたって不安はありませんか。

山田 長谷川 とくにありません。

福井 英会話に不安がありますね。

鈴木 健康面と言葉ですね。

安田 海へビなどが不安です。

— ORに対する家族、友人の反応はいかがですか？

山田 友人はうらやましがっています。家族は僕の学校のことを心配しています。

福井 家族は応募のころから賛成でしたし、すべて私にまかせてくれていきます。

— 参加するにあたっての抱負はいかがですか。

福井 このチャンスを積極的に生かしたいと思います。

山田 体力的に劣っているといわれている日本人の汚名を返上してきたいと思っています。

鈴木 さまざまな国の人たちと交流を深めたいと思っています。

— これまでにどんな準備をしましたか。

山田 体力の増強です。

福井 浪人時代に落ちた体力の回復と英語の勉強です。

— 準備でやり残したことはどんなことですか。

山田 歌をたくさん覚えておくことです。

福井 同じフェイズに参加する全員に会っていないことです。



安田 救急法を受講できなかったことです。

— 現地では何を主眼に活動したいと思いますか。

鈴木 オーストラリアの自然をしっかりと見つめてきたいと思います。

長谷川 現地の農業を調査したいし登山も…。

福井 OR後も連絡をとりあえる外国の友人をつくることです。

— 帰国後の予定はありますか。

山田 即、ライフガードをするので海へ出ます。

長谷川 大学院をめざします。

福井 大学の単位を必死で取るつもりです。

安田 当面、大学院で修士論文を書くための基礎研究に従事するつもりです。

鈴木 就職先さがしでしょう。

— これから出発する人たちへのメッセージは？

山田 自分の日常生活をムリに変えないほうがいいと思います。気負いすぎないためにも…。

福井 パスポートは数次を取っていきましょう。

長谷川 体調をつねに整えておくことです。

鈴木 送別会などで飲みすぎて、胃や肝臓をこわさないように。

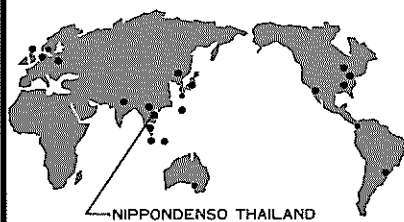
安田 自分の国（日本）のことを紹介できるようにしておくこと。

(写真/上から山田君、長谷川君、福井君、安田君、鈴木君)

デンソーワールドワイドオペレーションNo.8

タイ

自由という誇り。



国名のMuang Thai(ムアン・タイ)は、「自由の国」の意味。タイの人々は、独立を保ってきた自国の歴史を大変誇りに思っているようです。日本電装最初の海外電装品工場ができたのも、この時。オルタネーター、スターターなど10品目以上が毎日生産されています。より良い製品を提供して、カーライフをもっと自由にエンジョイしてほしい。デンソーマンたちは、そんな願いをもったここでも活躍しています。

NIPPONDENSO THAILAND CO.,LTD.

所在地: 369 Soi Teeparak Road Samrong
 Nua Samutprakarn Thailand

売上高: 2,500万ドル(60億1,700万円)

従業員数: 342人

(1986年1月現在)



日本電装株式会社 〒418 静岡県裾野町1-1 ☎0566-22-3311